

当社は、優れたテクノロジーと創造力を活かした製品を提供することによって、社会の発展に貢献するとともに、豊かな地球環境を守る継続的な改善に努めている。

今回、当社の製品開発プロセスにおける環境配慮型設計の取り組みおよび有害物質全廃の取り組みについて紹介する。

(1) 環境配慮型製品開発への取り組み

当社では、環境保全に優れたグリーン製品を一貫した取り組みで開発している。

具体的な活動として、製品及びその包装が資材の調達から廃棄・処分に至るまでの過程において環境への影響を低減するため、製品開発プロセスの中で製品環境アセスメント（事前評価）およびグリーン製品評価（環境強化型製品）を実施している（図 - 1 参照）。さらに、省エネトッパンナー製品の開発、新素材（再生プラスチック、植物性プラスチック）の適用を推進している。

1) 独自の環境配慮設計基準に則り開発・設計を実施して、2003 年度までに 143 製品をグリーン製品として提供している。

① 設計段階からの環境負荷低減

「3R^{注1)}設計」、「省エネルギー対策」、「化学物質の削減」など

② 環境強化対策の運用

「グリーン調達対応」、「LCA^{注2)}による CO2 排出量把握」、「環境規制対応」など

2) グリーン購入法に適合した登録製品数で、当社のスキャナ製品は業界トップレベルを確保している。適合の判断条件となる国際エネルギースタープログラムへ全製品登録済みである。

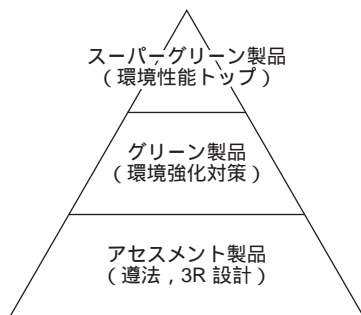


図 1 グリーン製品の位置付け

(2) 有害物質全廃への取り組み

欧州連合（EU）の WEEE 指令^{注3)} / RoHS 指令^{注4)}などの規制やお客さまからのご要求により、随時指定有害物質を見直しして、電子機器の廃棄・処分による土壌・水・大気汚染の防止に努めている。

2005 年度末に鉛フリーはんだ化を含む指定有害物質^{注5)}の全廃を目指して活動を推進している。

1) グリーン調達活動

グリーン調達基準を制定し、RoHS 規制対象物質を含む指定有害物質の全廃に向けて、お取引先のご協力のもと、グリーン調達を推進している（図 - 2 参照）。お取引先への含有化学物質調査は、JGPSSI^{注6)}に準拠して実施している。

2) 鉛フリーはんだの適用拡大

業界標準鉛フリーはんだである錫 - 銀 - 銅系はんだと耐熱温度の低い部品の実装に対応可能な錫 - 亜鉛系はんだ実装技術により、広範囲な対応を可能としている。

(3) 今後の展開

当社は、2004 年度から 3 か年計画で第 4 次環境行動計画を制定し、環境トップ要素をもつスーパーグリーン製品の提供、環境に配慮したソリューションビジネスの展開などによる環境負荷低減の取組強化を目指して、持続可能な社会の実現に貢献していく所存である。

注 1) 3R (Reduce・Reuse・Recycle)

注 2) LCA (Life Cycle Assessment)

注 3) 廃電気電子機器指令 (WEEE)

注 4) 特定有害物質使用制限指令 (RoHS)

対象物質：鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE

注 5) 法律などで既に禁止 + RoHS 規制 (31 物質群)

注 6) グリーン調達調査共通化協議会 (JGPSSI)

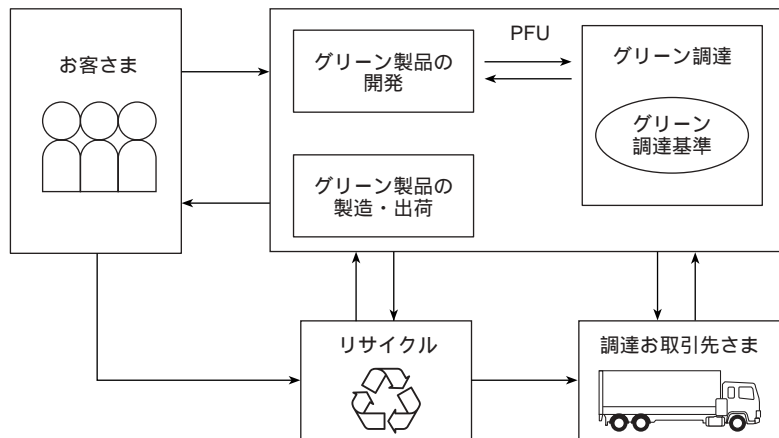


図 2 グリーン調達のしくみ